

第八十四卷 第十二号 目次

斎藤和夫教授退職記念論文集

序	大石 裕	マンハイムにおける「革命的意識」について ―『イデオロギーとユートピア』を中心に―	蔭 山 宏
通信法制と放送法制の融合 ―その限界と到達点―	青 木 淳 一	借地上建物への抵当権設定における担保価値維持義務 ―最高裁第一小法廷平成二三年九月九日判決を契機として―	片 山 直 也
債権者代位権擁護論 ―債権法改正における立法論のあり方と「学説の作った虚像」―	池 田 真 朗	株式会社の参入拡大と遵法・統治・説明責任の実践 共有著作権の権利処理に関する一考察 ―共同著作物と共有著作物の差異の明確化のために―	加 藤 修 金 井 高 志
不動産投資法人(J-REIT)のガバナンスにまつわる実務上の諸問題に関する一考察	石 橋 源 也	契約における錯誤と情報提供義務 ―錯誤規定をめぐる近時の潮流(P E C L、P I C C、D C F R)と日本法―	鹿 野 菜 穂 子
民事司法改革の実現を目指して ―債務名義の執行力強化―	今 井 和 男	妨害排除請求権に基づく原状回復の範囲	河 原 格
ニーチェの永遠回帰論とマラー― ―交響曲第三番の歌詞をめぐる―	岩 下 眞 好	二重売買と危険負担 ―危険負担制度と契約解除制度の競合―	北 居 功
司法研修所の要件事実論に代わる「新しい要件事実論」の構築のために	加 賀 山 茂	平成二三年改正特許法における冒認出願・共同出願違反と真の権利者の救済	君 嶋 祐 子

イギリス倒産法における管財機関の生成と信託理論	工藤敏隆	判例研究の目的	六車明
フルペイアウト方式によるファイナンス・リース契約における倒産解除特約の効力	櫻井一成	政府系ファンドと行動規範をめぐる諸問題	渡井理佳子
— 最高裁平成二〇年十二月一六日第三小法廷判決（民集六二卷一〇号二五六一頁）について —			
イギリスにおける金銭支払を命ずる判決の強制執行	島田真琴	国際貸付契約書に見る担保手法についての一考察 — 主として英米法の担保制度を通して —	山根真文
EU基本条約の自由移動規定と国際私法 — EU法の視点からの一考察 —	庄司克宏	トーマス・マンの『非政治的人間の考察』について — 「正義と真理に反して」の章を中心に —	坂口尚史
ドイツ管理共同制における家財道具の物上代位規定 — 生成・展開の構造と基礎 —	水津太郎	New Religions in Japan: A Case Study of Oyamazunomikoto-Shinjikyokai	ASAI, Shizuo
組合と権利能力なき社団における共有論の可能性 — 財産群法理と団体的拘束原理 —	平野裕之		
抵当権の追及効と対抗問題の射程	松尾弘	斎藤和夫教授略歴・主要業績	
留置権の「対抗可能性」に関する一考察	武川幸嗣		
連結点の基礎となる事実と弁論主義	山田恒久		